



ちづる

赤崎正和 監督作品

知的障害のある家族を描いたドキュメンタリー映画を通して「障害」を考える場をつくれます。
最終上映回終了後、赤崎監督、高木監督、logue井上の3名によるトークセッションを開催します。

『ちづる』『僕とオトウト』

映画上映会 in 上野原
ローグ

*山梨県初公開



僕とオトウト

高木佑透 監督作品

©Yuto Takagi

2023年5月27日(土)

各回入場1,000円(ワンドリンク付き)
定員40名 / 事前予約制(右記QRコードより)

- ①『僕とオトウト』 11:10 ~ 12:00
- ②『ちづる』 13:00 ~ 14:20
- ③『僕とオトウト』 15:20 ~ 17:30
(トークセッション約60分を含む)

《ご予約はこちら》



※なるべく公共交通機関でお越しください。駐車場をご利用の場合は、事前にご連絡をお願いします。

幼いころから
障害とは… 家族とは…
そんなことを考え続けてきた。
時にそれは、ため息のように、届く相手のいない独白であった。

2022年11月5日
logueから地域へと発信する自主企画「bookmark」にて
映画『ちづる』を上映した。

訪れてくれた皆さんと、『ちづる』を共通体験にして、考える場をつくりたい。
あらためて、ここから言葉を紡いでいきたい。
そんな願いを込めてつくりあげた日。

確かに、あの日logueにはたくさんの言葉があった。
言葉が生まれるその背景には、考える行為がある。
映画を観るひとりずつの表情が物語っていた。

まだ一日が終わらぬうちに
僕は監督の赤崎さんに2つのお願いをした。
またこの場所に来てほしい。
さらに、もうひとつ“特別な作品”をあわせて発信してみたい――



●ローグ自主企画「bookmark#1」



●『ちづる』赤崎正和監督作品

2023年5月27日
bookmark#2にて
『ちづる』・『僕とオトウト』両作品を上映する。

山梨県初公開となる『僕とオトウト』は
高木佑透監督による、重度の知的障害がある弟・壮真さんとの日々を撮影したドキュメンタリーだ。
高木さんも赤崎さんと同じく、池谷薫監督に師事し、
『ちづる』公開から9年後にあたる2020年、京都大学大学院在学時に本作を完成させた。
時を経て、2つの作品は共鳴し合い、なんだか兄弟のような印象を受ける。
そして、赤崎さんが高木さんをlogueにつなげてくれた。

●『僕とオトウト』高木佑透監督作品



bookmark#2
最終上映回終了後には、赤崎さん、高木さんと共にトークセッションを行う。
生まれた場所は違うけれど、少しずつの共通点でつながっていた僕たち。
それぞれが持ち寄る言葉が対話になる瞬間を見届けてほしい。
願わくは、あなたの声も聴かせてほしい。

大丈夫。
もうひとりではない。

logue
井上真吾

●障害福祉サービス ローグ



駐車場の数が限られておりますので、なるべく公共交通機関でお越しください。駐車場ご利用の場合は、事前にご連絡をお願いします。



〒409-0112 山梨県上野原市上野原2075-1

Tel: 0554-67-8680 | Mail: info@logue00.com | Fax: 0554-67-8681 | HP: https://logue00.com

[アクセス] 最寄り駅: JR中央線「上野原駅」富士急バス「本町一丁目」もしくは「本町三丁目」下車 徒歩4分 駐車場5台(無料)